⚠ 使用上のご注意

モンベルブーツの中で、ミッドソールにポリウレタンを使用した製品においては、ポリウレタンの経年劣化（年月とともに強度が低下する現象）によって性質が劣化して、突然靴底がはがれたり、破損してしまう場合があります。一般的には製造後5年程度がその寿命とされていますが、使用頻度や、お手入れの方法、保管状態によっては寿命が短くなることがあります。またそれ以外のソールでも接着剤の剥離が起こる可能性があります。使用前後のお手入れや保管方法を取扱説明書に従っておこなってください。経年劣化や接着剥離は使用中突発的に起こる可能性が高く、事故の原因にもなる可能性があります。御使用前には特に靴底は屈曲を繰り返してひび割れ等の異常がないか確認してください。異常が見受けられた場合は直ちに使用をやめ、お買い上げ頂いたお店にご相談ください。

リペア方法

■破損個所の修理

破損が起こったらお買い上げ店にお問合せいただき、できるだけ早急に修理を行なうようにしましょう。

■ソール（靴底）の交換

ソールの磨耗は、スムーズな歩行を妨げます。「滑りやすくなった」と感じたり、かかとやつま先部の減りが目立つようなら早めに交換を行なうようにしましょう。またミッドソール(中底)や靴本体との接合部の損傷にも注意し、異常が見受けられた場合は直ちに使用をやめ、お買い上げ頂いたお店にご相談ください。

取扱い方法ワンポイント

■御使用前に

靴本体やミッドソール（中底）、フック、D環等に異常がない事を点検してください。御使用前には特に靴底は屈曲を繰り返してひび割れ等の異常がないか確認してください。

■慣らし履きの重要性

新しい靴でフィールドに出かける前には必ず十分に慣らし履きを行ない、必要に応じて自分の足にあわせた調整を行ないます。下ろしたての靴でいきなりハードな泊りがけの山行などは避けましょう。

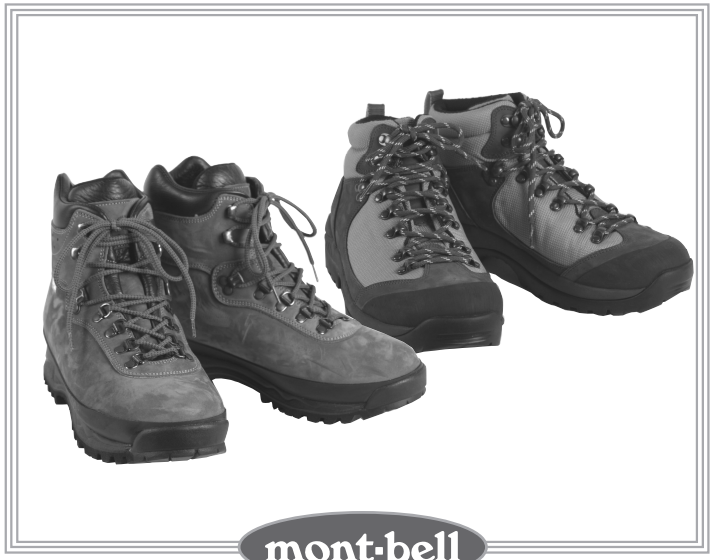
■中敷きの有効利用

中敷きは、自分の足と靴の相性を高めるだけでなく、足へのダメージを抑えるのに効果的です。フィッティングについては販売店にご相談ください。

■靴ひもの交換について

靴紐は思わぬところで切れることがあります。フィールドに出かけるときは必ず予備の靴紐を持っていくよう心がけましょう。

モンベルブーツ
取り扱い説明書



mont·bell

この度は「モンベル・ブーツ」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、ご自分の靴にあったメンテナンス方法で
お手入れを行なっていただき、長くご愛用いただきますようお願いいたします。
なお、ご不明な点などございましたら、
販売店もしくは弊社コンシューマ・サービスまでお問い合わせください。
この説明書は大切に保管してください。

株式会社 モンベル
◎本　　社　〒550-0013 大阪市西区新町1-33-20　TEL 06-6531-4761　FAX 06-6531-4969
商品についてのお問い合わせは　コンシューマ・サービスまで　TEL 06-6536-5740
フリーコール　0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.com

メンテナンス方法

■【ご購入後すぐの防水・保革処理】

処理方法はご使用後のお手入れと同じですが、使用前にこの処理を行なうことで、汚れや傷など靴へのダメージを軽減することができます。（STEP3）

■【ご使用後のお手入れの流れ】

STEP1 汚れ落とし

靴紐・中敷きを取りはずし、アッパー部分・ソール・靴の中の汚れ（泥、小石、ゴミ等）をブラシを用い、かき出すように落とします。汚れが目立たなくても毎回この作業を行なうことで汚れの蓄積を防ぎ、素材の痛みを軽減することができます。取り外した靴紐・中敷きは水洗いを行ない、痛みがひどい場合には新しいものと交換します。アッパー素材の汚れがひどい場合には、クリーナーで汚れを浮かせ、拭き取りますが、洗剤成分が残らないようすすぎは十分に行なってください。

▲アッパーについた泥を落とす

▲ソールの泥や小石を取り除く

▲靴のなかのゴミも取り除く

STEP2 乾燥

靴は濡れたままにしておくと、カビ、型くずれ、革の硬化、ひび割れの原因になります。高温多湿を避け、風通しの良い日陰で自然乾燥してください。濡れた靴を乾かす時は新聞紙を丸めたもの（時々入れ替えると乾きが早くなります）で形を整えてから、風通しの良い日陰で充分陰干ししましょう。またヒーターやドライヤーでの急速な乾燥は、素材を著しく損ねますので絶対におやめください。

STEP3 保革と防水

保革処理は、革の硬化を防ぐ成分を補充する処理、防水処理は、革の表面付近に防水効果をもたらす膜を作る処理です。アッパー素材、靴の特性に合わせた保革・防水剤を用い、お手入れしてください。

A.天然皮革製アッパーの場合

保革・防水用のスプレー（SRレザーシューズスプレー/SRスプレー）やワックスを用いてメンテナンスを行います。スェード/ヌバック（起毛皮革）の場合、スプレータイプの方が風合いを維持できます。（ワックスタイプのものでお手入れを続けると皮表面の色や風合いが変化します。）

▲SRレザースプレーを吹き付ける

B.天然皮革・合成繊維混合アッパーの場合

革部分を保革用スプレーやワックスで手入れした後、撥水スプレー（SRスプレー）で撥水処理を行なってください。革以外の部分には革用スプレーがかからないようにしてください。

C.合成繊維製アッパーの場合

撥水スプレー（SRスプレー）で撥水処理を行なってください。

D.プラスティックブーツの場合

基本的にアウターシェル、インナーブーツ共に水洗いが可能です。乾燥は、火のそばなどの高温下を避けて行ってください。バックル部には機械油などで給油しておいてください。

※ご使用になるクリーナー・スプレー・ワックスなどについては、それらの製品に付属の「取扱説明書」「注意書き」をよく読んでご使用ください。

保管方法

・靴の内外の水分をよく乾燥させた状態で保管するようにしてください。

・高温多湿、直射日光（ベランダや物置き、車のトランク等）を避けた風通しのいい清潔な環境で保管するようにしてください。

・未使用のまま長期保管を行なうことはできるだけ避け、定期的にご使用・お手入れを繰り返すようにしてください。

・乾燥剤・消臭剤を靴に入れておくとより効果的です。

・保管の際シューキーパーを使用すると型くずれしません。